	尹小	刀爭木	マネ	ジメン	ノトシート	(20年度	実績と21年	.度計画)	20年度決算把	献後 平成 性後 平成	21 年 21 年 1			作成 作成
事務事業名 市農村広場・農業総合センター維持管理事業								マニフェスト 全庁横断 集中改革 関連 課題関連 プラン関連						
総合	政 策 3 働く人々が輝き続けるまちづくり								部 産業振興部 農政課		課長名 担当者名	渡邉直	.美	
計画		施策	11	農業の	 D振興				所属班 農業振興班 (内線) 1166					
体系	į	基本事業	32	関係機	機関との連携の	 の強化		法令	法令根拠					
	予	·算科目	会計 1	款 6	項 目 1 9	事業連番 10299	204	年度で終了	□ 21年	F度から開始	成果優先			12 6 * 6
車3		業期間	□ 単	年度のみ	み ▼ 単年度	繰返(開始年)	度 <b>平成18</b> 複数年度事	年度)	期間限定複	数年度(	~	<b>2</b> ,/⊔,∕⊾,	年度	
【事: 人農	業の用の	の内容】 月施設の機能の の流れ】農村広 農業	を保持で場合セ	するとと 管理委請 水ター・ 清掃 熱水費、	もに安全かつ交託契約事務、施等修理・し尿汲・・・管理費負担! (年1回床・窓)	効率的に利用で 設利用申請の み取り連絡、 協議事務、施語 、施設経費に	できるよう、維持 D受付、利用料 豊村広場経費!!	特管理を行う。 金の調定・納作 こかかる支払し 受付、利用料金 务	寸書発行、管理 \事務 この調定・納付書		合への連絡			
(1)	事務	<b>务事業の目</b> 6	的と指								······································	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	ii.i.î/i	
20 <sup>左</sup> 業務	F度 §委	託契約の締結	度に行 <b>吉及び管</b>	理費の	な活動)(DO 支払い。 別料納付書発行		同じ		度計画(21年度 0年度に同じ	という	いる王な店男	功)(PL <i>⊦</i>	AN)	
								⑤活動 → ア	助指標(事務事 利用件数	業の活動量を	表す指標) =(	①の指標	<b>悪</b>	(単位) <b>件</b>
_			対象に	している	るのか) * 人々	や自然資源等	<u> </u>	: <sup>一</sup> イ ⑥対象	象指標(対象の 利用者数	大きさを表す指	≦標) =②の指	標		(単位)
		川用者)						7 7						人
		図(この事業) 施設を常に安			象をどう変える 利用できる	のか)	•••	⑦成界 ⇒ ア	見指標(意図の <b>苦情件数</b>	達成度を表す	指標) = ③の打	指標		(単位) <b>件</b>
連携	もして	て取り組める			的に結び付け	るのか)		カリカリカ 1 多上位 カファイ	五成果指標(上 連携によって開 連携によって販	位目的の達成 見発された特産 返売された農畜	度を表す指標 品の数 産物の売上高	票) = ④( 与	の指標	(単位) 個 千円
(2)	総事	事業費•指標		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 <sup>目標(当初予算)</sup>	22年度 (目標)	23年度 (予定)		全体計画 ~	
	ļ	国庫支財 都道府県		千円 千円								( 期		
			債	千円	19	17	10	28	240	240	240	制総 限		
	業部	w <u>地力</u> 内 その	仙.	千円			ļ							
坎	業	内 その 訳 繰入	.金	千円		1 475	1 495	1 327	1 558	1 500		定し複		
投入	業費	内 その 訳 繰入 一般則 ( A ) 事 業	金 け源 : 費 計	千円 千円 千円	1,443 1,462	1,475 1,492	1,495 1,505	1,327 1,355	1,558 1,798	1,500 1,740	1,500 1,740	トー タル定複数年		0
投入量	業費	内 その 課 繰入 一般貝 (A)事業 うち指定	金 け源 費 計 経費 <sup>殊勤務手当</sup>	手円 手円	1,443						1,500	ータルコ		C
投入量	業費	内 その 訳 繰入 一般貝 (A)事業 うち指定	金 <b>才源</b> 費 計 ※経費 <sup>乗勤務手当</sup> 事人数	千円 千円 千円 千円	1,443						1,500	ータルコ		0
投入量	業費 人件費	内 マの スの 深 (A)事業 うち指定 うち指定 で規職員従 正規職員従 (B)人件費	金	千千千 大間 千円	1,443 1,462 7 480 1,906	1,492 7 480 1,910	1,505 7 480 1,910	1,355 7 480 1,910	1,798 7 480 1,910	1,740 7 480 1,910	1,500 1,740 7 480 1,910	ータルコスト複数年度のみ記載		0
投入量	業費	内 示 (A)事業 うち間別、 が時間外、 が時間外、 が 正規職員従い で (B)人件書 ータルコスト(A	金	千円       千円         千円       千円         千円       千円         十円       人         時間	1,443 1,462 7 480	1,492 7 480	7, 480 1,910 3,415	1,355 7 480	1,798 7 480	1,740 7 480	1,500 1,740 7 480	ータルコスト複数年度のみ記載)		0
投入量	業費	内 マの マの 深入 一般 (A)事 指定 うち指定 うち時間外、特別 正規職員従す 近の (B)人件費 ータルコスト(A) 活動指標	金	千円 千円 千円 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	1,443 1,462 7 480 1,906 3,368	1,492 7 480 1,910 3,402	7, 480 1,910 3,415	1,355 7 480 1,910 3,265	1,798 7 480 1,910 3,708	7 480 1,910 3,650	7,500 1,740 7 480 1,910 3,650	タルコスト   目総		0 0
投入量	業費 人件費 下	内 マの マの マの では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	金	千円       千円         千円       千円         千円       千円         時円       千円         件       件	1,443 1,462 	1,492 7 480 1,910 3,402	1,505 7 480 1,910 3,415	1,355 	1,798 7 480 1,910 3,708	1,740 7 480 1,910 3,650	7,500 1,740 7 480 1,910 3,650	タルコスト   目総		
投入量	業費 人件費 下 対	内 マの マの 一般 (A)事 指定 うち時間外、特別 正規職員従い 延り、大学 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 では、一 でし、一 では、一	金		1,443 1,462 7 480 1,906 3,368 103 5380	1,492 7 480 1,910 3,402	1,505  7  480 1,910 3,415 107 6150	1,355 	1,798 7 480 1,910 3,708 110	1,740 7 480 1,910 3,650 110 7000	7,500 1,740 7 480 1,910 3,650 110	ータルコスト 目標数 複数年度のみ記載 ) 総合計		0
投入量	業費 人件費 下 対 月 上	内 (A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	金	千千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	1,443 1,462 7 480 1,906 3,368 103 5380 未把握	1,4927 480 1,910 3,402 106 6111	1,505  7  480 1,910 3,415 107 6150	1,355 	1,798 7 480 1,910 3,708 110	1,740 7 480 1,910 3,650 110 7000	7,500 1,740 7 480 1,910 3,650 110	ー タルコスト 目標数値 複数年度のみ記載 ) 総合計画		0
投入量 (3) (1)	業費 人件費ト 対 月 仕 移の	内 (A) (A) (A) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B) (B	金	千千千千十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	1,443 1,462 7 480 1,906 3,368 103 5380 未把握 未把握	1,492 7 480 1,910 3,402 106 6111 1 未把握	1,505 7 480 1,910 3,415 107 6150 0 未把握	1,355	7 480 1,910 3,708 1110 7000	7 480 1,910 3,650 110 7000	7,500 1,740 7 480 1,910 3,650 110	ータルコスト     目標数値       22		
投入量 (3) ·地 (2) -農	業費 人件費下 上事に域事業	内訳	金	千千千八 時子子 件 人 件 個円 民かって 対を	1,443 1,462 7 480 1,906 3,368 103 5380 未把握 未把握 意見等 かけは何か? の体育並びにご 象者や根拠没 機に農業構造	1,492	1,505 7 480 1,910 3,415 107 6150 0 未把握 な経緯で開始 なり、まちづくり:	1,355	7 480 1,910 3,708 110 7000 0	1,740 7 480 1,910 3,650 110 7000 0	1,500 1,740 7 480 1,910 3,650 110	ー タルコスト     目標数値     2年       複数年度のみ記載)     総合計画     22度		0

	事務事業名 市農事業		農業総合セ	ンター維持管	<b></b>	所属部	産業振興部	所属課	農政課	
2	評価の部(SEE)*原則		ぼの事後評	価、ただし複	数年	度事業に	_ は20年度における途中	]評価		
	①政策体系との整合性		<ul><li>□ 見直し</li><li>▼ 結びつ</li></ul>				⇒3評価結果の総括	(SEE)	<b>工</b> 反映	
	この事務事業の目的は市の政策体				由】 <b>つ</b> ↓ することに	こより、安全かつ効率的な	な利用及び	が地域住民の活動の場所としての意図		
	か?意図することが結果に結びつい	農業用施設を適切に維持管理することにより、安全かつ効率的な利用及び地域住民の活動の場所としての意図につなぐことができる。								
目	② 公共関与の妥当性		日本1	<b>△</b> 4hがます <b>-</b>	<b>→【</b> #⊞	±15	⇒3評価結果の総括	(CEE) ):	· 巨 · · ·	
妥			反			申】 <b>シ</b>	一3評価福未り総括	(SEE)	- 汉昳	
当	なぜこの事業を市が行わなければ	ならないのか?		gを良好な状態 となる	態で維打	持すること		けでなく、防	災面、環境面等の多面的機能の発揮	
性評			を通し、農業	業者、地域住民	氏の利	盆につな	かる			
	③ 対象・意図の妥当性	□ 見直し	余地がある =	⇒【理	申】シ	⇒3評価結果の総括	(SEE)	<b>上反映</b>		
	対象を限定・追加すべきか?意図	☑ 適切で			申】�					
	べきか?	2 BXXE - 11471 9	对家"思凶	こともに適切り	ഗതരം					
			▼ 向上余							
	(4) 成果の向上余地	④ 成果の向上余地				甲尼	⇒3評価結果の総括	(SEE)	<b>二反映</b>	
	成果を向上させる余地はあるか?ほ		<ul><li>□ 向上余地がない ⇒【理由】</li><li>芸情件数を減少させる必要がある。</li></ul>							
	準とあるべき水準との差異はないか 成果向上が期待できないのか?	Ì								
	<u></u> ⑤ 廃止・休止の成果へ	の影響	影響無		<u>5</u>		21年度計画(21年度	に計画し	 ている主な活動) (PLAN)	
有			☑ 影響有	T →【その内	宮】□					
効性		影響の有無とそ	農業用施設	段を適切に維持	寺管理	することだ	ができなくなり、利用する	際の安全i	面に影響がでる。	
評										
	⑥ 類似事業との統廃台	計・連携の	□ 他に手	段がある	<b>办</b> (首	・体的な	手段,事務事業)			
	可能性 目的を達成するには、この事務事業	業以外他に方	□ 統國	桑合・連携がで	<b>ジ</b> キス	<b>→</b> [ #	里由】 <b>⑤</b> →3評価結:	里の総括	(SEE) / 一戸 吨	
	法はないか?類似事業との統廃合類似事業との連携を図ることにより、	ができるか?		発合・連携がで	_			<b>木マノがご1</b> 白	(SEE) (C) (C) (C)	
	が期待できるか?	( ) > ( ) - ( )	類似事業が	<b>がなり。</b>						
			▼ 他に手	: 段がない =	<b>⇒【</b> 理	<b>#   </b>				
	⑦ 事業費の削減余地		☑ 削減余	:地がある =	<b>⇒【</b> 理	由了多	⇒3評価結果の総	》括(SEE	)に反映	
	成果を下げずに事業費を削減でき	ないか?(什				由】 <b>つ</b>	- 維持符冊を承託  <i>て</i> ( )	ろが 珇左	、委託業務の中で、利用者の協力を	
	様や工法の適正化、住民の協力な	:ど)		ば、委託料の削			作可自任と安元してい.	<b>のい、近</b> 山	、安心未物の中で、利用省の励力を	
率性		- HH ) の 火山	No. 1. No. 4	14 121 -	\ <b>√</b> ≃m			VIT (ODE	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
評	<ul><li>⑧ 人件費(延べ業務時減余地</li></ul>				申】シ	⇒3評価結果の総	終括(SEE	りに反映		
価	やり方を工夫して延べ業務時間を置	<ul><li>✓ 削減余地がない ⇒【理由】</li><li>契約事務や支払い事務など職員による処理が必要である。</li></ul>								
	か?成果を下げずにより正職員以久 託でできないか?(アウトソーシンク									
小	<ul><li>⑨ 受益機会・費用負担</li></ul>	の適正	☑ 見直〕	余地がある =	<b>⇒【</b>	#1 <b>5</b>	⇒3評価結果の総	終括(SFF	)に反映	
	化余地			公正である =		•		7.1D (S.D.E.	,, (=), (,)	
性	事業の内容が一部の受益者に偏っ ではないか?受益者負担が公平・	っていて不公平 公正になって	他の市の旅	施設と比較検討	対を行わ	ない、利用	月者における使用料負担	への検討	を行なう必要がある。	
一個		2121-0-7								
3	評価結果の総括(SEE									
$(\overline{1})$	(1) 1次評価者としての評価結果 (2) 全体総括(振り返り、反省点)									
	① 目的妥当性 🔽 適切 🔽 見直し余地あり ①有効性については、苦情件数を減少する必要がある。									
	②有効性	適	i切 🔽	70007111		†	②効率性については、対減を検討。	施設利用	皆の協力を得て維持管理委託料の削	
	③ 効率性 ④ 公平性			<ul><li>見直し余り</li><li>見直し余り</li></ul>			③公平性については、	利用者にお	おける使用料負担への検討を行なう必	
	安かめる。									
	4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN) (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (2) 改革・改善による期待成果									
	□ 廃止 □ 休止 □ 目的再設定 □ 事業統廃会・連携 □ 事業のやり方改善(有効性改善) (廃止・休止の場合け記入不要)									
	事業のやり方改善(効率性改善) 事業のやり方改善(公平性改善) コスト ▼ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)									
14	現仏維持(促米理りで特に	-以早以晋	をしない						. 向上	
									が 単維持 O	
(3	) 改革, 改善を実現する	上で解決	すべき課題	夏(壁)とその角	解決第	<b></b>				
Ļ	<b>事效事类圣热</b>	土田 /北州	の体料部に	三の公丘)						
	事務事業貢献度評価約 )目的の直結度	5果(施東 9	<u>vノがいた課力</u> ( 『	をの総括) ■ 直結度高	fil 1	~3 F	直結度中 4~6	□直結	度低い 7~9 )	
	)貢献度	12	<u> </u>	貢献度高			貢献度中 4~9		度低い 10~12 )	